

東海体育学会講演会&シンポジウムの開催のご案内

学会企画委員会では下記のような講演会&シンポジウムを企画致しました。体罰問題に体育・スポーツ研究者としてどのように受け止め、取り組んでいくのか考え、議論したいと思います。多くのご参加をお待ちしております。会員外の方もお誘いください。

テーマ： スポーツにおける暴力による指導について考える

<趣旨>

大阪桜ノ宮高校のバスケットボール部員の体罰による自殺、女子柔道代表選手による体罰告発に代表される体育・スポーツ界での体罰問題に対して、その背景を探り、暴力のないスポーツ指導の在り方について考えたいと思います。また、スポーツ指導の現状を知り、学校現場から学会レベルまで体罰問題に今後どのように取り組むべきかについて検討したいと思います。

多くの学会員、一般の方々のご参加をお待ちしています。事前の申し込みは不要です。

日時：2013年6月15日（土）午後2時30分～5時00分

場所：愛知工業大学自由ヶ丘キャンパス（アクセス：<http://www.ait.ac.jp/access/jiyugaoka.html>）

地下鉄名城線「自由ヶ丘駅」下車、「自由ヶ丘2」交差点前

内容：<第一部> 講演会

【講師】

阿江美恵子氏（東京女子体育大学）

「スポーツの意味を正しく教育する ～暴力指導の実態から見える勝利至上主義～」

<第二部> シンポジウム

【シンポジスト】

斎藤正晴氏（東海学園大学・元愛知県立高等学校長）

「学校現場では体罰問題をどのように受け止め、指導してきたのか？」

鶴原清志氏（三重大学・東海体育学会理事長）

「体育・スポーツ現場に暴力指導・体罰問題が投げかける課題」

※阿江先生には講演後、シンポジストとして加わっていただきます

対象：学会員、一般（参加費無料、事前の申し込み不要）

東海体育学会

企画委員会